(4) 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

①運営費交付金債務の増減の明細

(単位:円)

		交付金当			長替額		期末
交付年度	期首残高	期交付額	運営費交 付金収益	資産見返運 営費交付金	資本剰余金	小計	残高
平成21年度	88,480,438	1	88,480,438	-	-	88,480,438	-
平成22年度	62,423,603	-	62,423,603	-	-	62,423,603	-
平成23年度	54,679,891		54,679,891	-	-	54,679,891	-
平成24年度	106,312,992	-	106,312,992	-	-	106,312,992	-
平成25年度	_	293,628,000	293,628,000	-	-	293,628,000	_
合 計	311,896,924	293,628,000	605,524,924	ı	1	605,524,924	-

②運営費交付金債務の当期振替額の明細

1. 平成21年度交付分

Σ	区分		内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	=	
	資産見返運営費 交付金	-	ー(業務達成基準を採用した業務はありません)
にある派目頭	資本剰余金	-	
	計	-	
	運営費交付金収益	-	
期間進行基準 による振替額	資産見返運営費 交付金	-	ー(期間進行基準を採用した業務はありません)
にある派日報	資本剰余金	-	
	計	-	
	運営費交付金収益	-	①費用進行基準を採用した業務:全ての業務 ②当該業務に係る損益等
費用進行基準	資産見返運営費 交付金	-	損益計算書に計上した費用の額:0千円 ③運営費交付金の振替額の算出根拠 当センターの事業には、運営費交付金と自己収入を充てる事業があり、 運営費交付金を充てるべき業務に係る費用を運営費交付金収益に計上
による振替額	資本剰余金	-	
	計	-	しております。
会計基準第81第	会計基準第81第3項による振替額		中期目標期間の最終年度であることから、独法会計基準第81条第3項の規定に基づき、運営費交付金債務残高の全額を収益化しております。
É	合計		

2. 平成22年度交付分

-	· /\	A 955	##T
区分		金額	内訳
業務達成基準	運営費交付金収益	1	
	資産見返運営費		
による振替額	交付金		ー(業務達成基準を採用した業務はありません)
	資本剰余金	1	
	計	-	
	運営費交付金収益	-	
期間進行基準	資産見返運営費	_	
による振替額	交付金		- (期間進行基準を採用した業務はありません)
1 -0 - 0 100 1100	資本剰余金	1	
	計	1	
	運営費交付金収益	-	①費用進行基準を採用した業務:全ての業務 ②当該業務に係る損益等
┃ 費用進行基準	資産見返運営費	_	損益計算書に計上した費用の額:0千円
日 日本日本年 による振替額	交付金		③運営費交付金の振替額の算出根拠
である家田田	資本剰余金	-	当センターの事業には、運営費交付金と自己収入を充てる事業があり、 運営費交付金を充てるべき業務に係る費用を運営費交付金収益に計上
	計	-	しております。
会計基準第81第3項による振替額		62,423,603	中期目標期間の最終年度であることから、独法会計基準第81条第3項の規定に 基づき、運営費交付金債務残高の全額を収益化しております。
合計		62,423,603	

3. 平成23年度交付分

区分		金額	内訳
業務達成基準 による振替額	運営費交付金収益	-	
	資産見返運営費 交付金	-	 一(業務達成基準を採用した業務はありません)
による派百段	資本剰余金	-	
	計	-	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	-	
	資産見返運営費	_	
	交付金	_	ー(期間進行基準を採用した業務はありません)
	資本剰余金	-	
	計	-	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	-	①費用進行基準を採用した業務:全ての業務 ②当該業務に係る損益等
	資産見返運営費	_	過益計算書に計上した費用の額:0千円
	交付金		③運営費交付金の振替額の算出根拠
	資本剰余金	-	当センターの事業には、運営費交付金と自己収入を充てる事業があり、 運営費交付金を充てるべき業務に係る費用を運営費交付金収益に計上
	計	-	しております。

会計基準第81第3項による振替額	54,679,891	中期目標期間の最終年度であることから、独法会計基準第81条第3項の規定に基づき、運営費交付金債務残高の全額を収益化しております。
合計	54,679,891	

4. 平成24年度交付分

Σ	区分		内訳
業務達成基準	運営費交付金収益	-	
	資産見返運営費	_	
未労達成基準 による振替額	交付金		ー(業務達成基準を採用した業務はありません)
にある派目頭	資本剰余金	-	
	計	=	
	運営費交付金収益	-	
期間進行基準	資産見返運営費	_	
による振替額	交付金		ー(期間進行基準を採用した業務はありません)
ころの派日報	資本剰余金	-	
	計	-	
	運営費交付金収益	-	①費用進行基準を採用した業務:全ての業務 ②当該業務に係る損益等
┃ 費用進行基準	資産見返運営費	_	→ 過去計算書に計上した費用の額:0千円
による振替額	交付金		③運営費交付金の振替額の算出根拠
この心気回復	資本剰余金	-	当センターの事業には、運営費交付金と自己収入を充てる事業があり、 運営費交付金を充てるべき業務に係る費用を運営費交付金収益に計上
	計	-	しております。
	会計基準第81第3項による振替額		中期目標期間の最終年度であることから、独法会計基準第81条第3項の規定に基づき、運営費交付金債務残高の全額を収益化しております。
合計		106,312,992	

5. 平成25年度交付分

×	.分	金額	内訳
業務達成基準	運営費交付金収益	-	
	資産見返運営費 交付金	-	 一(業務達成基準を採用した業務はありません)
による振替額	資本剰余金	_	(未初足)及至十と1年間に未初は助りなどが)
	計	-	
	運営費交付金収益	-	
期間進行基準	資産見返運営費 交付金	-	 一(期間進行基準を採用した業務はありません)
による振替額	資本剰余金	-	
	計	-	
	運営費交付金収益	238,599,575	①費用進行基準を採用した業務:全ての業務
	資産見返運営費 交付金	_	②当該業務に係る損益等7) 損益計算書に計上した費用の額: 252,560千円(人件費 165,243千円、物件費 83,625千円、減価償却費 3,692千円)
費用進行基準 による振替額	資本剰余金	1	(1)自己収入による収益計上額:9,921千円 (寄付金収益 373千円、その他収入 9,548千円) ③運営費交付金の振替額の算出根拠 当センターの事業には、運営費交付金と自己収入を充てる事業があり、
	計	238,599,575	運営費交付金を充てるべき業務に係る費用を運営費交付金収益に計上 しております。 (4. 経常費用-0. 自己収入見合支出などの振替額から控除すべき額) 4. 252, 560千円-0. 13, 960千円=238, 600千円
会計基準第81第3項による振替額		55,028,425	中期目標期間の最終年度であることから、独法会計基準第81条第3項の規定に基づき、運営費交付金債務残高の全額を収益化しております。
合計		293,628,000	